

# 鮭川出張所河川愛護モニター通信Vol.49

真室川小学校環境委員会の児童のみなさんからいただいた質問・報告と、鮭川出張所からの回答をご紹介します。

**質問：小さい魚がいっぱいた。メダカかと思ったが、メダカではなさそうだ。メダカも川にいるのだろうか。**

メダカは、水の張った田んぼや用水路、池、小川など流れのゆるやかな場所に生息し流れのある川には棲みません。最上漁業協同組合の方にお聞きしたところ、この時期(8月～9月上旬)川にいる小さい魚は、ハヤの稚魚ちぎよではないか、とのことでした。

**質問：鮎釣りをしている人がいる。鮎の食べ物はなんだろう。鮎はスイカの匂いがするといっていたが本当か。**

鮎釣りは、7月から解禁され9月下旬までたのしめます。鮎は、稚魚ちぎよのときはプランクトンなどを食べ、成長すると珪藻類けいそうるい(石についているコケ)をエサとします。その珪藻類けいそうるいを食べているため川魚の生臭さはなく、スイカのような匂いがします。また、鮎は「年魚(ねんぎよ)」とも呼ばれ一年で一生を終える魚でもあります。

**質問：どんな魚が金山川にいるのだろうか。どんな魚が多いのだろうか。**

最上漁業協同組合の方にお聞きしました。金山川には、サクラマス・カジカ・ヤマメ・イワナ・ハヤなどの水のきれいなところに生息する魚が多いとのこと。また、産卵期さんらんきには鮎や鮭なども金山川に戻ってくるそうです。

金山川にはたくさんの魚たちがすんでいるね。魚の生態を調べてみたよ！



サクラマス(桜鱒)

(サケ科)全長約60～70cmと大きく全身はシルバーで背中にはん点がある。産卵期さんらんきには、ピンク色のもようが体に表れる。



イワナ(岩魚)

(サケ科)全長約25～60cmで灰色のような色で背中から全体に白いはん点が散らばっている。冷たい水を好む魚。



カジカ(鰻)

(カジカ科)全長約15～20cmでこげ茶色で体は細いが頭が大きく、口が大きいのも特ちょう。背びれが三角形になっている。



ヤマメ(山女魚)

(サケ科)全長約20～40cmで高級魚こうきゆうぎよとして名高なだかい魚。だえん形のまだらもようがあるのが特ちょう。ヤマメは、大きく成長するとサクラマスになる。

環境委員会のみなさん、今月もたくさんの報告ありがとうございました。川をかんさつするときは気をつけようね！